

今治歴史散歩

大成経凡

今治の埋もれた、魅力ある歴史文化を紹介するコーナーです。第29回は、タコ（蛸）で陶器を釣り揚げる「蛸釣陶器」の伝承を紹介し、江戸時代の来島海峡の海上交通史を歴史散歩したいと思います。

第29回 江戸期の海難と蛸釣陶器

●蛸釣陶器の由来

明治25（1892）年2月3日付の海南新聞に「^{たこ}章魚釣陶器の由来記」が掲載されています。この^{はがた}波方村宮崎沖海底から揚がった蛸釣（^{たこつり}罎釣）陶器は、かつて波止浜村の珍品として衆目を集め、愛媛考古学界の先達・犬塚又兵（^{かん}甘古）も八木亀三郎への書簡で興味を示すほどでした。しかし、この記事掲載から間もなく波止浜商人が潜水夫を雇って取り尽くされたようです。

由来記を要約すると、江戸後期の文政10（1827）年5月、来島村の漁師が宮崎沖で陶器を抱えたタコを釣り揚げたことがありました。不思議に思って古老に訊けば、茶人の織田有楽齋が豊臣秀吉の命を受け、珍しい茶器を九州の陶窯から船で取り寄せようとしたようです。途中、その船は荒天で宮崎の小湾へ避難し、有楽齋家臣の上田藤右衛門は陸の民家で天候の回復を待つことになります。そうしたところ、秀吉の死を伝え聞いた船頭が積荷を盗み、船を沈めて失踪してしまいました。責任を感じた藤右衛門は慶長3（1598）年10月切腹して果て、これを哀れんだ村人がその霊を唐津明神（唐津崎神社）として祀ったとされます。

この一件以来、その海域は唐津磯と呼ばれ、タコに細縄を括りつけて海底に放ち、その習性を活かして陶器を釣り上げる珍しい漁が行われたそうです。現在も、宮崎地区の波方国家石油ガス備蓄基地内に唐津崎という地名が残され、唐津明神は同地区の御崎神社境内に合祀されています。

●古記録が伝える海難事例

後になって、この蛸釣陶器を専門家が鑑定したところ、17世紀後半から19世紀にかけて生産された肥前（現、佐賀県）の陶磁器と分かりました。



唐津磯付近にある波方ターミナル(中央)と波方国家石油ガス備蓄基地(右下)

〈波方ターミナル(株)提供〉



蛸釣陶器の絵葉書（犬塚甘古譜／八木商店本店資料館所蔵）



潜水夫が引き揚げた陶器（原晃一氏所蔵）

有楽齋が取り寄せようとした逸品ではないようです。江戸後期になると、今治地方では桜井商人のわんぶね梶舟行商が盛んに行われ、彼らは紀州くろえ黒江の漆器だけでなく、肥前伊万里の陶器も頻繁に積載し、瀬戸内海を盛んに帆走しました。そうした商船の一つが唐津磯で座礁し、積荷とともに沈んだのでしょうか。

今日でも座礁などの海難事故が起きた際、船主は海難報告書を作成し、公的機関の認証を受ける必要があります。これは室町末期成立の船法「廻船式目」の慣習に通じるようで、これは江戸期の瀬戸内海沿岸でも同様でした。船が難破して積荷に損害が生じたり、救難を受けたりした際は、必ず現地の浦村や港町で証明書「浦証文」うらしょうもんの交付を願い、事故処理（浦仕舞）うらじまいを済ませないと船は出航できなかつたのです。

藩政時代の今治地方の記録では、今治藩大浜村庄屋の「柳原家文書」と松山藩港町波止町の「町方覚日記」に約40件の海難事故を確認できます。多いのは潮汐・潮流・強風が原因の座礁事故で、遭難時は近隣から救難船が加勢し、積荷の載せ替えや人命救助を行いました。西水道のにしすいどう海士瀬磯・あま広瀬、小浦のせ弁才島磯、来島瀬戸の間磯、波方村沖の磯での座礁が多かつたようです。船体が傷つけば近隣のタデ場で修繕を行い、濡れた積荷は現地でれんばい廉販されたものもあります。残念ながら、それらの記録に唐津磯での沈没事故は確認できませんでした。

●渦に巻き込まれた遭難事故

一方、船頭や水主が海に転落して行方不明の場合は、近隣住民に依頼して捜索も行われました。事故処理を終えると、船主や荷主は必要に応じて金銭や積荷をお礼の対価として関係者に提供しています。

今治藩政史の「今治拾遺」には、海難の記録があまり見当たりません。最も目を引くのは、宝暦7（1757）年12月に来島海峡で起きた6名の死者を出す遭難で、このうち2名は今治藩士でした。当時、船には勘定目付・松村治左衛門を含む13名が乗船し、大島幸新田村（吉海地域）の普請視察を終えて帰帆途上にありました。中渡島・武志島間で渦に巻き込まれて難破し、目撃者が救助に急行しています。8人を引揚げるとも5人は行方不明で、救出された治左衛門もやがて息を引き取りました。

中水道のなかすいどう中渡島付近は、来島海峡で最も潮流が速い場所で知られ、最速10.0ノット（時速約18.5km）を記録することがあります。直径10m以上に達する渦は「八幡渦」とも呼ばれ、かつて大浜八幡神社の神輿が海上渡御の際に巻き込まれた海難に由来するそうです。



急潮流の中水道・中渡島灯台下（熊木勉氏撮影）